

東京国立 博物館 ニュース

第683号
展示と催し物
案内

2007

67

月号



2-3 ◎ 特集陳列 平成18年度新収品

4-5 ◎ 特別展 足利義満六百年御忌記念「京都五山 禅の文化」展

5 ◎ 特別展 「レオナルド・ダ・ヴィンチ ―天才の実像」展

6 ◎ 特集陳列 「仏像の道 ―インドから日本へ」

7 ◎ 表慶館 「みどりのライオン」 みんなで楽しむ教育スペース

平常展見どころ案内2007年6月・7月

8-11 ◎ 国宝 普賢菩薩像／特集陳列「板碑―中世の供養塔」／

「天皇の書―宸翰からみる書風の変遷」／

「琉球の工芸」／「高島菊次郎氏寄贈中国書画」／

重文 伎楽面 醉胡従／無我／国宝 山水屏風

12-13 ◎ よこそ！博物館の舞台裏へ

お客様サービスセンターの1日

14 ◎ INFORMATION

15 ◎ TOPICS

16 ◎ 2007年6月・7月の展示・催し物

特集陳列

平成18年度新収品

6月19日(火)～7月16日(月・祝) 本館特別2室

平成18年度はご寄贈や購入など全部で62件の作品が新たに当館の所蔵となりました。毎年恒例の新収品展、本号ではその中から6件をご紹介します。

平安貴族の生活を華やかに描いた江戸中期の佳品

源氏物語絵巻

住吉具慶筆



源氏物語絵巻「常夏」 住吉具慶筆 江戸時代・17～18世紀 千野浩一氏寄贈

『源氏物語』から「初音」「常夏」「野分」「御幸」「若菜上」の五段を選び、各段につき一場面の絵を描いて春・夏・秋・冬・賀の構成とし、詞書とともに一巻の絵巻に仕立てたもので、MOA美術館にも具慶による同様の作品があります。具慶(一六三一～一七〇五)は、住吉派二代目の画家で、住吉如慶の長男として京都に生まれました。貞享二年(一六八五)江戸幕府の奥絵師となり、住吉派隆盛の基礎を固め、江戸にやまと絵の伝統を広めました。具慶は延宝二年(一六七四)法橋に叙されており、この作品は「法橋具慶筆」の落款を有するので、延宝二年以降、具慶晩年期の作とわかります。精細な彩色によって、平安時代の貴族の生活ぶりが華やかに描き出されています。(救仁郷秀明)

神奈川の風景を描いた真景図

相州名勝図帖

谷文晁筆

寛政の改革を断行した老中松平定信に仕え、『集古十種』の編纂にも携わった谷文晁(一七六三～一八四〇)の三十五歳の基準作です。絹本に清書し、画帖に貼り込まれた八図は、寛政九年五月二十一日から二十九日にかけて、相模の国(神奈川県)の権太坂から戸塚・鎌倉・長谷・七里浜などを経て、江ノ島に至る八ヶ所の風景で、画中の題や細字で書き込まれた地名も文晁の自筆です。

当館にはすでに寛政五年の「公余探勝図巻」(重要文化財)および寛政十年の「戸山莊図巻稿本」があり、制作時期が両作品の間に位置するこの画帖が加わったことにより、文晁の実景表現、いわゆる真景図の様式展開をたどる展示ができるようになりました。(松原茂)



相州名勝図帖 谷文晁筆 江戸時代・寛政9年(1797) 第8図。西洋画から学んだ遠近法をこなし、ペンで描いたような、表情を抑えた線多用しています

三方に描かれた花、花、花。
今回は牡丹をご覧ください

色絵花卉図壺

染付を用いずに色絵だけで飾られたこの壺は、まず赤色の線で頸、肩、胴、腰と四つに区画されます。胴の部分には赤い花を配した緑の唐草文を額縁のように描きあげ、三つの絵画のためのスペースが設けられています。そこに牡丹、蓮、菊という季節の異なる三種の花が描かれています。お手本となった中国・景德鎮窯の有蓋壺ならば、この三種の花に梅を加えて四つの絵で飾るところでしょうが、伊万里の陶工は三つの絵にすることで、よりゆとりとした絵画空間を作り出しています。ヨ



色絵花卉図壺 伊万里・柿右衛門様式
江戸時代・17世紀

ヨーロッパへの輸出向けとして作られた作品であり、もともとは蓋をとまなっていたはずですが、この作品の購入に当たっては、賛助会員の皆様の御協力を賜りました。
(九州国立博物館 伊藤嘉章)

当時の漆工・金工の大家による合作 蓮池蒔絵厨子及び舍利塔



蓮池蒔絵厨子及び舍利塔 五十嵐作(厨子蒔絵)
後藤程乗作(舍利塔) 江戸時代・寛文12年(1672)



内側全面を金蒔絵で覆い尽くした厨子と、何とも変わった形の舍利塔。それもそのはず、舍利塔の作者である後藤程乗は、刀装金工の名家・後藤家の九代目。この舍利塔は、鐔や目貫・小柄・筭などの刀装具によく使われる技法や文様を応用して作られているのです。そしてこれを納める厨子の総金地の豪華な蒔絵は、京都の有名蒔絵師、五十嵐の作。五十嵐道甫がその代表で、名工の誉れ高く、加賀藩主から金沢へ招かれてその御用を勤めたといわれています。また、これらは加賀藩の重臣今枝近義が誂え、自ら再興した京都の蓮華寺へ寄進したものです。今枝家の記録にはその年月日が記されており、制作の経緯や作者、制作年がともに判明する、まことに貴重な存在です。
(竹内奈美子)

中世ペルシア語の銘文に注目

こぶ牛文装飾の皿

一枚の銀板から打ち出した円形丸底の皿。内面中央のメダイオンには右向きのコブ牛が描かれ、その周辺に蔓草文、連続城壁文などの文様帯が巡ります。

外面周縁に、列点による「中世」ペルシア語の銘文が一行記されています。「ダーラーヤーンの子孫でありダーラーヤーン王の息子、われらが兄弟アルダクシヤハル王に、幸福を贈らん！金と銀から打ち出したこの(皿)の(重量は)五十スタテル。(それは)王子ワヒークシヤハルの所有」。最後の文は後の書き加えらしく、書体が少し異なっています。

この時代、ファールス地方の言語による



こぶ牛文装飾の皿 イラン出土
前1世紀 銀製、部分鍍金

タイ族の創出した美 如来頭部

スコータイは、十三世紀にタイ族によって作られた王国です。タイでは伝統的に仏教が篤く信仰されていますが、この時代も仏教(上座部)が盛んでした。スコータ



如来頭部 タイ スコータイ時代・14世紀頃
ストウッコ 山本達郎氏寄贈

イ時代の仏像は、流れるような体の表現など優美さをそなえた造形に大きな特色があります。この作品は、頭部のみが残ったのですが、面長、伏し目、すらりと通った鼻筋に、スコータイ様式の特徴がよく示されています。他の作品から想像すると、おそらく耳朶は大きく、頭頂部の肉髻の上には、火焰形の突起をつけていたと考えられます。

この作品は、東南アジア史研究の第一人者であった故山本達郎東京大学名誉教授の旧蔵品で、このたび当館へ寄贈となった作品二十一件のうちの一点です。(小泉恵英)

特別展 足利義満六百年御忌記念

京都五山 禅の文化展



1 展覧会データ

足利義満六百年御忌記念 「京都五山 禅の文化」展

7月31日(火)～9月9日(日)
東京国立博物館
平成館特別展示室第1～第4室

主催：東京国立博物館 日本経済新聞社
特別協力：大本山相国寺
観覧料：一般1,500円(1,300円/1,200円)
高校・大学生900円(700円/600円)
小・中学生無料
※()内は、前売り/20名以上の団体
料金。障害者とその介護者1名は無料
です。入館の際に、障害手帳などをご提示
ください

このたび足利義満(一三五八～一四〇八)の六百年御忌を記念して「京都五山 禅の文化」展を開催いたします。

禅は鎌倉時代に栄西がもたらしてからおよそ一世紀をかけて徐々に京

都の地に根付きました。そして室町幕府を開いた足利尊氏が夢窓疎石(一二七五～一三五二)に帰依して以降、將軍家と禅宗は密接な関係を持ち続けました。特に義満の頃に、將軍家の求心力も禅宗の文化も頂点を迎えたと言つてよいでしょう。

や仏画はあまりないと考えられがちですが、それは正しくありません。禅宗寺院を建立したのは、將軍、守護(武士)、貴族です。彼らは禅を信仰するだけでなく、支配者としての権威を保つために寺院としての体裁を整える必要がありました。そして涅槃会、羅漢講などの法会には絵を掛けました。ところが現在、禅宗寺院を訪れても建築や庭以外に拝観でき



4

僧の肖像彫刻、仏像などを一堂に展示します。

出品作品は禅宗が文化の主流をなしていた中世に限定しています。ただし京都市中の寺々では多くの作品が応仁の乱(一四六七～七七)で失われたので、京都五山と関係の深い地方寺院の作品も含まれます。その中には中世禅宗美術に関する本には必ず登場する名品もあり、一方今まではほとんど知られていなかった作品も多数あります。特に二十件を超える彫刻が出品されるのは禅に関する展覧会ではめずらしいことです。

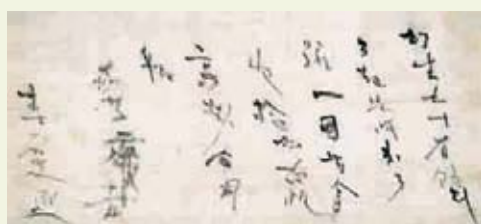
見どころはたくさんありますが、その一つとして「禅僧の気迫」に注目してみてください。悟りを求める強

い意志であり、弟子を叱咤する厳しい心です。禅僧の肖像の迫力のある表情、書の雄渾な筆致、特に死に臨んで苦しい息のもと筆をふるった書(遺稿)などにそれを感じることができると、禅僧とその支援者に注目すると、禅の違った側面がみえてきます。支援者の代表的存在は將軍です。將軍は禅に傾倒しますが、それだけではなく各地に造られた禅宗寺院を、五山を通じて支配することで、宗教、そして人々を統制したのです。しかしまた五山のネットワークは禅僧がもたらした最新の中国文化を全国に浸透させる役割も果たしました。



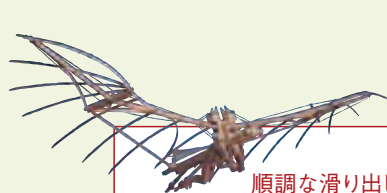
2

それでは禅の文化とはどのようなものでしょう。教科書には建築、石庭、水墨画、禅僧の肖像、書などがあげられています。禅僧は礼拝より坐禅を重んじるので仏像



3

きる作品は多くありません。今回の展覧会では、ふだん蔵にしまわれていたものや、博物館に預けられている書画、拝観が謝絶された奥深くに安置される禅



開催中

レオナルド・ダ・ヴィンチ 天才の実像

順調な滑り出しをみせたこの展覧会、連日多くのお客さまで賑わっています。すでに本誌で紹介されたイタリアの至宝「受胎告知」や「少年キリスト像」のほかにも見どころ満載です。第2会場となっている平成館ではエスカレーターで昇ると、目の前にレオナルドが発明した「人力飛行機」がまるで空を舞うように展示されています。会場内には「手稿」と呼ばれる彼が書き残したメモや素描類の複製や手稿をもとにつくられた模型・映像の数々を展示。中でも復元すると7mを超える「スフォルツァ騎馬像」は圧巻です。また精神の動きまでも絵画に表現するプロセスや学術の最高位に位置づけた絵画を描くための光・影・色に関する研究などがわかりやすく解説されています。まさに天才の実像に迫る空間です。（井上洋一）



レオナルド・ダ・ヴィンチ「受胎告知」
(1472-73) ウフィツィ美術館蔵
Su concessione del Ministero
per i Beni e le Attività Culturali

スフォルツァ騎馬像模型の展示風景



展覧会データ

レオナルド・ダ・ヴィンチ — 天才の実像

6月17日(日)まで

主催：「イタリアの春 2007」実行委員会 東京国立博物館 朝日新聞社 NHK NHKプロモーション
特別後援：イタリア共和国大統領 後援：外務省 文化庁 イタリア外務省 イタリア文化財・文化活動省
特別協賛：日立グループ 協力：アリタリア航空 JR東日本 三井住友海上
観覧料：一般1,500円(1,200円) 大学生1,200円(800円) 高校生900円(500円) 小・中学生 無料
※()内は、20名以上の団体料金。※障害者とその介護者1名は無料です。入館の際に、障害手帳などをご提示ください

関連事業

テーマ講演会

鎌倉時代後半から室町時代にかけて京都五山を中心に花開いた禅文化をテーマに、その特色について美術と歴史の両面から探る4回連続の講演会です。

テーマ「京都五山の文化」全4回

■第1回「五山派の彫刻」 日時：6月9日(土)13:30~15:00

出版企画室長 浅見龍介

■第2回「京都五山の絵画」 日時：6月30日(土)13:30~15:00

特別展示室長 救仁郷秀明

■第3回「室町幕府外交と京都五山」 日時：7月14日(土)13:30~15:00

北海道大学大学院文学研究科 准教授 橋本雄氏

■第4回「五山僧と学芸」 日時：7月28日(土)13:30~15:00

情報管理室長 田良島哲

会場：平成館大講堂 定員：380名(当日先着順) 聴講無料(ただし当日の入館料が必要です)

記念講演会

①「京都五山の歴史と文化」 日時：8月4日(土)13:30~15:00

出版企画室長 浅見龍介

②「禅の山河」 日時：8月25日(土)13:30~15:00

臨済宗相国寺派管長 有馬頼底師

会場：平成館大講堂 事前申込制(各回定員380名)、聴講無料

(ただし、特別展「京都五山 禅の文化」の観覧券が必要)

※往復はがきの「往信用裏面」に、希望日・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を、「返信用表面」に、郵便番号・住所・氏名を明記して下記までお申し込みください。

※1枚の往復はがきで、1人1回のみ申し込み可能。

※応募多数の場合は、抽選のうえ受講券を送ります。申込締切 ①7月18日(水)必着 ②8月8日(水)必着

申込先：〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9 ヤマナシビル4Fウインドム内「京都五山展講演会」係

このほか雪舟の師、周文の作と伝わる水墨画、水墨画の上に五山禅僧が漢詩を寄せ書きした詩画軸、中国風の仏像、仏画など当時の人々を魅了した作品の数々が集まっています。
王朝文化が栄え、保守的だった京都の地に、どのように新しい文化が定着していったかを考える、つまりは日本文化の成り立ちを知る上でも必見の展覧会だと自負しています。ご来館をお待ちしています。(浅見龍介)

① 〇癡兀大慧坐像 愛媛・保国寺蔵

鎌倉時代・14世紀
堂々とした体格の等身大の像。
その気迫にじかに触れてください

② 釈迦三尊像 京都・相国寺蔵

南北朝時代・14世紀
両脇侍は迦葉と阿難。寺外初公開

③ 〇春屋妙葩墨蹟(遺偈) 京都・鹿王院蔵

南北朝時代・嘉慶2年(1388)
夢窓国師の高弟、春屋妙葩の死ぬ2日前の書

④ 〇竹斎読書圖 伝周文筆

室町時代・文安4年(1447)
水墨画の上に禅僧が漢詩を寄せ書きした詩画軸の代表的作品

仏像の道

— インドから日本へ —

本館特別5室 7月27日(金) オープン
古代インドで生まれた仏像が、中央アジア、
中国、朝鮮半島をへて、日本へと伝わる流れをたどります



如来坐像 パキスタン、ガンダーラ
クシャーン朝・2世紀
顔立ちや衣の襞はギリシャ・ローマ
彫刻を思わせる



菩薩半跏思惟像 朝鮮
三国時代・7世紀
朝鮮半島では半跏思惟像の
信仰が流行した



◎如来三尊像 中国
東魏時代・6世紀
ブツダの着る衣は中国風に
変化している



◎如来坐像 日本 飛鳥時代・7世紀
日本の飛鳥時代を代表する止利様式の仏像。
造形の源流は中国へとさかのぼる

仏

教は紀元前五世紀頃のインド
でブツダが説いた教えで、ブ
ツダの死後もその教えを受け継ぐ
人々によって伝えられてきました。

仏教徒は、ブツダの遺骨(舎利)を納
めた仏塔(ストウパ)を礼拝の対象
としました。この仏塔にブツダにま
つわる説話を表わしたり、さまざま
な装飾をほどこすようになり、仏教
美術が始まります。しかし、はじめ
はブツダを人間の姿で表わすことは
禁じられており、ブツダは足跡や傘、
車輪といった象徴によって、その存在
を暗示するという約束ごとがありま
した。

紀元後一世紀になって、ブツダを
人間の姿で表わすことが行なわれる
ようになり、仏教徒は仏像を礼拝す
るようになります。仏教の教えの広
がりとともに、インドのみならず各
地でさまざまな形の仏像が造られ、
人々の信仰を集めました。

仏像の誕生とはほぼ時を同じくし
て、仏教は中央アジアを経由して中
国に伝えられました。中国では、南
北朝時代になると、国家の保護の下
で仏教が繁栄し、五世紀に入ると大
規模な石窟寺院なども造営されるよ

うになり、おびただしい数の仏像が
作られました。仏像の様式がインド
風から中国風へと変化するのちよ
うこの頃で、外来の仏教を自分た
ちのものにしていく様子がわかりま
す。

四世紀の終わりに、仏教は中国か
ら朝鮮半島へ伝わりました。やはり
王室が仏教を保護し、仏像は中国南
北朝時代(四二〇～五八九)のスタイ
ルを継承しながら、朝鮮半島に独自
の流行もうみ出しました。

六世紀には、朝鮮半島の百濟から
わが国へ仏教が伝来しました。日本
では七世紀に入ると造寺造仏活動が
本格化します。伽藍配置や仏像の様
式には、朝鮮半島や中国との関連が
うかがわれます。中国では六一八年
に唐王朝が成立し、都の長安では仏
教が大いに栄え、わが国の仏教文化
にも大きな影響を及ぼしました。

今回の展示では、仏像の誕生した
ガンダーラから中国、朝鮮半島、日
本の仏像二十点余を選び、それぞれ
の時代、地域で、どのような仏像が
作られ、人々の信仰を集めていたの
かをたどってみたいと思います。

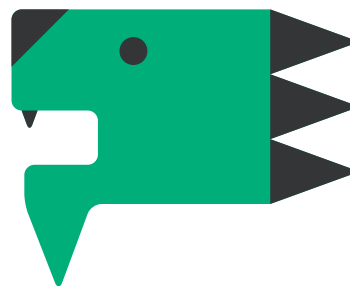
(小泉恵英)

みどりのライオン

表慶館は大正天皇の御成婚を記念して、片山東熊^{かたやま とうくま}の設計により明治四十二年（一九〇九）に開館しました。中央と左右におかれたドーム屋根や外壁のレリーフ、内部の装飾など意匠が凝らされた魅力あふれる建物で、明治時代を代表する洋風建築として重要文化財に指定されています。ネオ・バロック様式の建物の入り口に座る二頭の青銅のライオンは、実は寺院山門の狛犬と同じように「あーうん」の姿をしています。この、当館でもっとも長い歴史をもつ表慶館が、本年四月十七日（火）より、新しく教育普及事業のセンターとして皆さまにご利用いただく場となりました。愛称は「みどりのライオン」です。

それぞれ特徴のある五つの部屋で、作品や博物館をさまざまな視点から楽しみ、身近に感じてもらうことを目的としています。展示をご覧になる前、後にどうぞお気軽にお立ち寄りください。

表慶館
HYOKEIKAN



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터



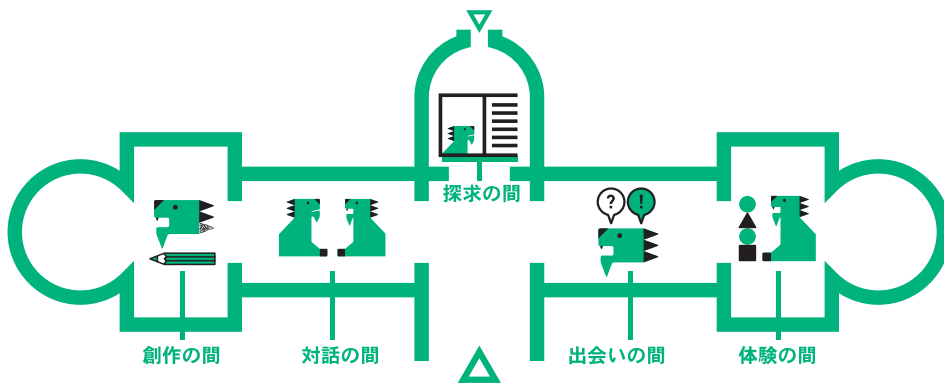
体験の間 銅鐸を鳴らしてみよう



表慶館のシンボル、ライオン像にちなんで愛称を「みどりのライオン」としました



出会いの間 東博の5つの展示館についての案内



出会いの間

広い構内で、どの建物に入ろうか、何を見ようかと迷った経験はありませんか。ここでは、博物館の歴史をはじめ、各展示館の見どころ、野外展示や四季折々の草花などをご紹介します。



体験の間

作品を見るときにきっと役に立つ、いろいろな体験ができる場所です。一つの作品の材料や作り方がわかる「制作工程模型展示」と、展示にあわせた参加型の活動ができる「ハンズオン体験コーナー」があります。

- ◆「屏風ってなに？」6月3日（日）まで
ミニ屏風で屏風の構造や使い方を体験できます。
- ◆「コピーの元祖『拓本』体験」7月1日（日）まで
展示作品を題材にした拓本制作を体験できます。
- ◆「銅鐸を鳴らしてみよう」9月30日（日）まで
実際に鳴らしてみることのできる、弥生時代の銅鐸のレプリカを展示します。
- ◆「昔のゲームを楽しもう」
7月3日（火）～9月24日（月・休）



創作の間

事前申込制のワークショップや学校の授業で来館された児童・生徒向け体験プログラムなどを行います。

◆ワークショップ「博物館のおもちゃ箱」
「親と子のギャラリー博物館のおもちゃ箱」（本館14室）7月3日（火）～9月24日（月・休）展示にともなうワークショップ、「動くおもちゃ自在エビを作ってみよう」を2回実施いたします。

①8月11日（土）、②8月12日（日）。それぞれ13:00～17:00 参加費無料（ただし入館料は必要です）。

★小中学生と同伴の大人対象。定員はそれぞれ10組。
申込方法：往復はがきの往信用裏面に、郵便番号・住所・参加されるすべての方のお名前（ふりがな付）・学年・電話番号・希望日を、返信用表面に、返信先の郵便番号・住所・氏名を明記し下記までお申込下さい。

締め切り：8月6日（月）必着。
先着順で、参加券をお送りします。締め切りとなり次第、当館ウェブサイトでお知らせします。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館事業部教育普及課教育普及室。
詳細は当館ホームページでご案内しております。

◆ワークショップ「こどもたちのアートスタジオ」
8月5日（日）・8月26日（日）に生涯学習ボランティアによるこどもたちのアートスタジオを実施いたします。

①8月5日（日）勾玉作り、②8月26日（日）根付作り。

それぞれ13:30～15:30

参加費無料（ただし入館料は必要です）。

小学校3年生～高校生（保護者の方の見学も可能です）対象。定員はそれぞれ10名程度。

申込方法：往復はがきの往信用裏面に、郵便番号・住所・参加されるすべての方のお名前（ふりがな付）・学年・電話番号・保護者の方が一緒の場合はその人数・希望日を、返信用表面に、返信先の郵便番号・住所・氏名を明記し下記までお申込下さい。

締め切り：①7月23日（月）、②8月13日（月）必着。
締め切り後、参加券をお送りします。なお、応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館事業部教育普及課ボランティア室。
詳細は当館ホームページでご案内しております。



対話の間

講師と参加者の交流を大切にする、さまざまなテーマのレクチャーなどを行います。日程等は巻末の展示・催し物カレンダーをご覧ください。



探求の間

美術や歴史に関するさまざまな本、当館の特別展図録などを閲覧できます。

平常展見どころ案内 2007年6月・7月

これだけは
見逃せない!
おすすめの
この1点

平安仏画屈指の名品

国宝 普賢菩薩像

7月3日(火)～7月29日(日) 本館2階国宝室

●普賢菩薩像 平安時代・12世紀

虚空から薄紫や薄桃色の花々が降る中、画面左へと向かう白い象の背の上の蓮華座に坐った菩薩が、顔をやや俯かせ画面左方に向かって合掌しています。菩薩の肌にほんのりとさされた朱色はその柔らかな白さを引き立たせ、装身具類の鮮やかな緑や青、朱や丹が肌の白さに映えています。着衣に施された極細の截金文様や銀泥による照暈(ハイライト)も、上品な華やかさを演出しています。

この繊細優美な画趣をたたえた作品は、現存する普賢菩薩画像の最高傑作とされている画像で、優品の多い平安仏画の中でも屈指の名品として知られています。普賢菩薩は『法華経』『普賢菩薩勸発品第二十八』や『法華経』の結経とされる『観普賢菩薩行法経』(以下、『観普賢経』)において、仏の滅後、法華経を受持する者を守るため、六牙の白象に乗ってどこにでも現れることを仏に誓う菩薩として登場します。日本では法華経を拠り所とした天台宗を中心に信仰され、像の制作が行われました。

その姿は『観普賢経』に、「其象色



鮮白。白中上者(その象の色鮮白なり。白の中に上れたる者なり)「有一菩薩。結跏趺坐。名曰普賢。身白玉色。五十種光」(一りの菩薩あり、結跏趺坐せり、名を普賢と曰う。身は白玉の色にして五十種の光あり)

「安詳徐歩。雨大宝蓮華。至行者前」(安詳として徐に歩み、大いなる宝蓮華を雨らして行者の前に至らん)等と詳しく説かれており、この画像はその姿を忠実に絵画化したものといえます。中でも、通常朱線が多く

用いられる菩薩の輪郭線に極細の淡墨線を用い、立体感を表わす朱暈を最小限に抑えて描線の太さの微妙な使い分けを主体とする描法は平安仏画の中には類例がなく、この画像の大きな特徴となっています。これにつ

いて最近の研究では、「白玉色」等と記述される白を効果的に表現するため、宋仏画の描法を取り入れた可能性があることが指摘されています。この機会に、平安仏画の傑作を心行くまで堪能ください。(沖松健次郎)

注目の特集

平成館企画展示室

中世史研究の重要資料

特集陳列

「板碑——中世の供養塔——」

7月10日(火)～10月28日(日)

板碑は、五輪塔・宝篋印塔とともに中世に供養塔として盛んに作られました。近世には廃れてしまいました。板碑は北海道から九州まで分布しますが、特に埼玉を中心とした関東に多くみられます。中世の歴史や社会を研究する上で重要な資料の一つです。

が、なかには「南無妙法蓮華經」の文字を刻んだもの、阿弥陀如来の像を描いたものもあります。

板碑をまとめて展示する機会はないかもしれませんが、この機会にぜひご覧ください。

(望月幹夫)

板碑 東京都あきる野市高尾出土
室町時代・康正3年(1457)
当館最大、高さ154.3cmの板碑。
阿弥陀三尊の種子、六地藏、日月、天蓋、三具足を描く装飾性豊かな板碑で、月待ち供養のために建てられた



本館特別1室

歴代天皇の書風とその展開

特集陳列 「天皇の書——宸翰からみる書風の変遷——」

6月19日(火)～8月19日(日)

我が国における書の国風化は、小野道風や藤原行成などの登場により「和様」の書の成立によって展開します。この「能書」たちは、ほかならぬ貴族社会の構成員であり、実際には朝廷に仕えた行政の実務者でした。その社会の頂点が天皇です。貴族社会の権威として天皇は文化の担い手でもあり、歴代天皇からは嵯峨、伏見、後陽成などの傑出した「能書」が登場します。諸家と同様、伝来の書風を継承しつつ自らの個性を加える

など、書流の回顧と復帰そして展開が繰り返されました。この特集陳列では、館蔵品のうち、奈良から江戸時代にかけての歴代の中でも能書の間こえ高い天皇の作品を選択し、書流の継承と展開を跡づけてみるものです。それぞれの天皇が置かれていた状況や、政治的な立場を我々に示してくれる作品もあります。どうぞその思いを展示室で読み取ってください。

(高梨真行)



◎書状(部分) 伏見天皇筆 鎌倉時代・13世紀
鎌倉時代屈指の能書、伏見天皇の手紙。格調の高さとともに明るく明快な筆運びから自由と闊達さも併せもつ作品といえる。文化人天皇の心意気が感じ取れよう

本館13室 漆工

和のモダンデザイン

特集陳列 「根来塗——朱漆の美」

6月12日(火)～9月17日(月・祝)

ここ数年、都心に新たに竣工したホテルやマンションの広告に、根来塗の写真を使ったものがいくつかみられました。根来塗の多くは黒漆を塗った上に朱漆を塗り重ねており、長年使われたためにところどころ朱漆が摩滅し、下に塗った黒漆が表面に現れています。長い歳月を経て塗膜が劣化し、細かくひび割れた部分などもあり、根来塗の表面には独特の枯れた趣があります。また、根来塗の器物は実用に徹したものが多く、無駄のない単純明快なその形には、

一種モダンな造形感覚をみてとることができます。根来塗のこうした特徴が、「和」のテイストを重視するインテリアの流行と合致して、広告にも用いられたのでしょう。いわゆる「和のモダンデザイン」の源流とも言える「根来塗」を、是非お見逃しなく。

(竹内奈美子)



時代・16世紀
がまの姿が、こはない、自然の

琉球工芸品の粋

特集陳列 「琉球の工芸」

5月29日(火)～9月17日(月・祝)

琉球の工芸品には金工、陶磁、漆工、染織、装身具などさまざまな素材のものがあります。中国や朝鮮半島、日本列島、東南アジアとの中継貿易を重視していた琉球王国では、広範な地域の影響を受けた工芸品が数多く作られました。

写真の作品は、奄美の最高のノロが挿していたと伝えられる簪です。



キンカブ 第二尚氏時代・18世紀 大和良子氏寄贈
ノロ(神女)の髪飾り。頭部の細かな牡丹文の細工に注目

東洋館第8室 中国絵画・中国書跡

大収集家遺愛の作品

特集陳列 「高島菊次郎氏寄贈中国書画」

槐安居コレクション

7月3日(火)～9月2日(日)

高島菊次郎氏(一八七五～一九六九)は、日本の製紙業界に大きな貢献を残すかたわら、中国の思想・美術に関する深い学識を背景に、中国の書画を収集されました。高島コレクションとして早くから内外に喧伝されたそれらの作品は、戦前から各種の刊行物に紹介され、江湖の愛好者の渴を癒すのみならず、今なお多くの研究者に貴重な資料を提供しています。

「歴史を伝える」シリーズ

特集陳列 「古写真―記録と記憶―」

6月5日(火)～7月1日(日)

写真は十九世紀前半にヨーロッパで発明されるや、日本には早くも幕末にもたらされました。これはまさしく西欧の科学技術との出会いであり、苦心の末、日本人の手による撮影に成功したものが「島津斉彬像」(銀板写真)です。これは近代化を急ぐ鹿児島藩ならではのできごとでしたが、「写真術」は以降国内に普及してい

きました。当館でも幕末・明治期の古写真を数多く所蔵しており、それらは失われた記憶の記録であると同時に優れた芸術表現の手段でもあります。これまでその一部を公開してきましたが、今回の特集では博覧会、景観、人物などのまとまりで紹介し



文久元年徳川幕府派遣修好使一行

東洋館が開館を間近にひかえた昭和四十年(一九六五)春、高島氏は愛蔵の中国書画を当館に寄贈されました。高島氏の歿後も、令夫人光子氏、

令息泰二氏によって寄贈された高島氏遺愛の作品は、都合三〇〇点を超える多きに至ります。東洋館の陳列を常に支えてきた高島コレクション

の中から、数々の優品や資料的価値の高い作品を選んで陳列いたします。どうぞご清覧ください。

(富田淳)



桃実図 吳俊卿筆 清時代・光緒33年(1907) 高島菊次郎氏寄贈
高島翁お気に入りの一幅。毎年正月になるとこの幅を愛でたという

気になる
この部屋
この作品

生まれかわった土器 須恵器 高坏

7月16日(月・祝)まで

美しい脚部をもつ高坏は食物や神マツリの供物を盛る土器で、『魏志倭人伝』にも「飲食ニ六簋豆(高坏)ヲ用イ手食ス」とあり、弥生時代以降、壺や甕と並ぶ代表的な土器です。五世紀に朝鮮半島から伝播した須恵器でも主要な器となり、古墳の葬送儀礼では重要な道具として副葬されました。しかし、脚部が壊れた状態では美しいシルエットを想像することは困難です。そこで、洗浄・接合・補填・補彩な



須恵器 高坏 岐阜県関市
平賀字蔵洞606出土
古墳時代・6世紀

どの工程で行なう修理によって欠失部分は樹脂などで補って復元します。こうして展示困難な土器も新たな価値をもつて生まれかわります。修理について詳しく知りたい方は、新設された「文化財を守る―保存と修理―」コーナーを是非ご覧ください。(古谷毅)

法隆寺宝物館第3室

四カ月に一度、伎楽面の展示 重文 伎楽面 醉胡従

7月10日(火)～8月5日(日)

伎楽は仮装して演技しながら仏像や堂塔の周りを回る行列です。どのような内容であったのか

詳しくはわかりませんが、かなり娯楽的であったと推測されます。たとえば、酔胡王は酒に酔った胡人(中国の異民族)の王と考えられ、法隆寺伝来の面では、眉や目尻が下がり、口元を



◎伎楽面 醉胡従 飛鳥時代・7世紀

上げた個性的な表情で表わされます。酔胡従はそれに従う役と思われませんが、細い弧状の目、端の上がった口はいかにも愉快そうです。これらの表現は同時代に造られた仏像の端正な表情とくらべると、より個性が際立ちます。(丸山士郎)

本館17室 保存と修理

貴人の装身具

金製首飾

平成20年4月6日(日)まで

ラピスラズリ、トルコ石、紅玉髓を象嵌した二十四個の金製の駒を小環で綴り、一端に留金を付けて連珠とした作品。駒には三日月に乗った横向



12番目の駒。径約6.5mm。三日月上の神は上片手を挙げ、たぶんに位の神に敬意を表わしている

金製首飾り イラン出土 前5～前4世紀

きの王侯風男性像が表わされています。とはいえ、顕微鏡でも見ないと気がつかないサイズ。古代ペルシアのゾロアスター教の主神アフラ・マズダーと考える人もいますが、それなら有翼日輪に乗っているのが普通。この男性は陪神の一柱だと思われます。ペルシアの貴人は黄金づくめだったそう、この作品も男子の全身を飾った装身具類の一部なのでしょう。(後藤健)

*7月17日(火)～20日(金)、平成20年1月28日(月)～2月12日(火)は東洋館全室閉室

本館18室 近代美術

大観の理想と日本の行く末 無我 横山大観筆

6月12日(火)～7月22日(日)

葦が咲き、川柳の花穂がひかる川岸を背に、こどもは、だぶだぶの着物とゆるゆるの草履を身に着け、惚けた表情



無我 横山大観筆 明治30年(1897) 絹本着色

で立ちつくします。大観(一八六八～一九五七)は事物の根源である「無」を絵画にあらわし、それまでにない人物画を創り出しました。こどもの表情は、「能面(のうめん)のようだ」と評されたこともあり、また、直面(ひためん)のこどもは、ものの形が今まさに定まらないう瞬間―日本独自の感覚、幽玄(ゆうげん)があらわされているかのようです。大観は、この作品で日本画の未来だけでなく、日本の行く末(現在の日本)を暗示させたのです。(松嶋雅人)

*本館18室は6月22日(金)～29日(金)閉室

本館2室 国宝室

画中の山水を逍遙 国宝 山水屏風

6月5日(火)～7月1日(日)

平安時代のやまと絵屏風には、日本の穏やかな山水を背景に、人物や動物や植物などさまざまな小さなモチーフがちりばめられ、人々は画中に入り込んで和歌を詠みました。こうした和歌は屏風歌とよばれ、『古今和歌集』や『貫之集』などに数多くみられます。当時の貴族の邸内で日常的に用いられた屏風は残っていないませんが、密教寺院の儀式に転用された山水屏風が奇跡的に伝来しました。神護寺本は鎌倉時代初期のもものではありますが、やまと絵屏風の最古の遺品で、平安時代の様式を色濃く残す貴重な作品です。(松原茂)



◎山水屏風(部分) 鎌倉時代・13世紀 京都・神護寺藏 寝殿の簀子に坐る貴公子に、何かを捧げもって近づく侍女。貴公子や侍女になりかわって一首詠んでみてはいかがですか。屏風の大画面から切り取ったほぼ原寸大の図様です



第16回

お客様と作品の安全を守る

お客様サービスセンターの一日

東京国立博物館の安全を守り、お客様が気持ちよく過ごせるようにさまざまな気配りをする——それがお客様サービスセンターの仕事です。レオナルド・ダ・ヴィンチ展で大盛況の東博のとある一日。常に現場の第一線、お客様にいちばん近いところに立つセンター員の仕事に密着しました。

4月5日(木)

「レオナルド・ダ・ヴィンチ」展16日目。

開館前—緊張の時間

博物館全体の警備を担当しているお客様サービスセンターは24時間フル稼働。センター員が、交代で勤務についています。



開館前 ロープをはずし、看板等を所定の位置に設置



開館前 展示室の鍵を開け、朝の見回り



9:00 開館を待つお客様



9:20 お客様があふれてきた



9:21 お客様を正門内に誘導



9:22 すでに50メートルの列



9:23 満開のヨシノシダレザクラを眺めながら進む



9:24 車椅子のお客様をご案内



9:30 ひとりひとりに笑顔で挨拶



9:42 列の最後尾と待ち時間を知らせるプラカード

よう。
開催中の「レオナルド・ダ・ヴィンチ—天才の実像」では、イタリア・ウフィツィ美術館の至宝「受胎告知」をお預かりしているので、職員全体により一層の緊張感があります。それだけ貴重な作品であるということ、また来館者も多く、連日イベントや撮影などが行われるからです。
今日のイベント、撮影、団体見学、施設のメンテナンス予定など、申し送りを行なう朝のミーティングをすませれば、さあ、お客様サービスセンターの一日の始まりです。

お客様をお出迎え

—わくわくする瞬間

東博の開館時間は9時30分です。しかし、9時には正門前に多くのお客様がためかかっています。誘導はわかりやすくきばきと、言葉使いは



お客様サービスセンターになくてはならないトランシーバー

丁寧。お客様と接しているのは、(株)フクシエンタープライズのスタッフのみなさん。館から委託されて、お客様サービスセンターとともに、お客様対応にあたっています。

お客様サービスセンターの職員もフクシの職員もみなトランシーバーを携帯していますが、9時を少し回ったあたりから、正門のお客様の状況と展示室の準備状況など、連絡を密にとりながらお客さまを的確に誘導する必要があります。

開館15分前、本館および平成館で

監視スタッフのミーティングが行なわれます。お客様対応の心がけを再確認したのち、それぞれの持ち場につきました。

そろそろ、正門前のスペースがお客様であふれてきました。規定の時刻より15分早くチケット売り場をあげることにしました。道路の通行の妨げになること、また、お客様の安全確保のために正門を開け、お客様の列を構内へと誘導します。トランシーバーでは、展示室の用意が整ったかどうか、スタッフは所定の位置についていたかどうか、確認と指示が飛び交います。

9時25分、今日は少し早めの開館となりました。本館に向かうお客様の後ろには、列の最後尾であることを示すプラカードを持ったスタッフがついています。このプラカードには現在の待ち時間が表示できるようにな

っています。混雑する展覧会では、お客様に的確な情報を提供することがもつとも重要です。

今日は庭園公開の日です。桜の時期には庭園を楽しむに来館されるお客様も大勢いらっしゃいます。特別展会場がごった返すころ、センター員がまだ誰もいない庭園を念入りに見回っています。お客様がすべったりすることのないように、昨晚の雨でぬかるんだ場所にはコーンで境界を作っておきました。

混雑する会場—感謝とお詫びの心

9時42分、「受胎告知」の観覧について、早くも待ち時間10分の表示がなされました。会場に進むお客様の状況を見ながら現在の待ち時間を掲示するのです。いっぽう、学校の団体の入場や落し物のお届けなど、トランシーバーからはたえず各部署から

の情報が流れています。

多くのお客様をお迎えする展覧会は、喜びも大きいですが、さまざまな困難にも直面します。たとえば、「受胎告知」をじっくり見ようと、その思いが強ければ強いほど、感動が大きければ大きいほどみなさん絵の前で立ち止まって動けなくなります。

「なぜ、前に進むように声をかけないのでか」。何人ものお客様からそんな声をいただきました。あまりに人が集中すると「少し前へお進み下さい」とお声掛けするのですが、いっぽうでそのために「静かな環境で見るのができなかった」とご不快を感じられるお客様もおられます。

お客様のお話をお聞きすると、そのどちらももつともなご意見なのです。人によって感じ方は違います。それぞれのお客様がご不快に感じないよう、どんな運営をすべきか、博物館の大きな課題です。

10時20分、トランシーバーに本館入り口でチケットの落し物があつたという情報が流れました。その15分後、チケットをなくしたというお客様からのお申し出を職員が受け、落とした可能性のある場所を確認すると、どうやら、先ほどの落し物が該当するようです。届いていますよ、とお渡しすると、お客様にほっと笑顔が戻



14:07 黒田記念館に見回り



14:25 平成館考古展示室を見回り



15:15 庭園のぬかるみの様子をチェック



16:05 庭園のお客様を出口へと誘導



16:12 庭園の木戸を閉める



16:29 「入館は4時半までです」



16:32 チケット売り場終了



16:33 誘導コーンを並べ明日の準備



17:00 閉館時間。受胎告知の前にはまだ十数人のお客様



17:30 正門を開けて鍵をかける

りました。

12時30分、午前中のお客様の波もひと段落。スムーズに入場できるようになったので、待ち時間の掲示が解除されました。

館内巡回

—お客様と作品の安全のために

お客様サービスセンターではたまに館内巡回を行なっています。今日の当番は茂野さん。「お客様が困っていることやトラブルがないか、と同時に展示作品やパネルなどに異状がないかどうかを見えています。これだけ混雑した会場だと、すりの被害が発生することも考えられます。バックの口が開いているお客さんはいないか。もしそんな人がいたら、大丈夫ですか？と声をかけ、確認をしていただきます。展示のための仕切り壁の裏側や死角になる場所に不審物がないかどうか、バックヤードに通じる扉の鍵に異状がないか、いろいろとチェックしないかね」。さりげなく、かつ厳しく目配りをする制服の長身は、混雑する会場の中でも目立ちます。お客様に安心と信頼を与える物腰はさすがこの道20年のベテランです。

東博のすべての展示館と庭園、西

側の道路をはさんだ黒田記念館も見回り、サービスセンターに戻るまでたっぷり1時間半はかかりました。

お見送り—ほっと安堵の時間

庭園開放は16時まで。16時少し前に何人かのセンター員が庭園に向かい、お客様を出口に誘導していきま

す。入り口からゆつくりと進んで、庭園内のお客様に声をかけていきます。今日は暖かく風もないので、まだまだのんびりと散策をされている方がいらつしやいます。お客様が不快に思われない程度に、少し先を急いでいただきながら、木の陰や茶室に不審者が潜んでいないか確認を怠りません。本館北側のビュースポットでは、記念写真のシャッターを押してくださいとおつしやるお客様もいらつしやいました。16時12分、庭園のお客様さまをすべて誘導し、木戸を閉めました。

16時25分、入館締め切りの時間も迫ってきました。正門の前では、あと少して入館できなくなる旨、拡声器を使ってお客様に注意を促しています。

16時30分、チケット売り場終了。17時、閉館時間になると、サービスセンターの職員が見回りをしながら、お客様を出口へと誘導していきま

す。いっぽうで、ロッカーにお客様の荷物が残っていないか、すべてのロッカーの確認作業が始まりました。すべての荷物が出されたのを確認し終わるまでは展示館の扉を閉めることはできません。

「受胎告知」を展示している本館特別5室に当番の研究員が点検に入りました。温湿度のチェックをし、作品や会場に異状のないことを確認してから、当番研究員、警備会社の職員立会いのもと、サービスセンター員によつて特別5室に鍵がかけられました。

平成館の特別展会場の扉を閉め、すべての展示室からお客様を誘導し終わつたのは、閉館時間をだいぶまわつたころ。正門では、明日朝お客様が並ばれる際の誘導ラインをコーンで作っておきます。明日の朝も、正門前がお客様でいっぱいになるのでしょうか。

本館エントランスでお客様が連れの方を待っているという情報が、トランシーバーに入りました。平成館にも、誰かを待っている様子のお客様がいらつしやいました。職員が声をかけてみると、どうやら、待合わせ場所を間違えておられた様子。お二人は、無事に合流して笑顔で帰っていかれました。

17時25分、各館の展示室の誘導を終えた職員が、正門に向かって最後のお客様を誘導していきます。

17時30分、夕暮れの中、入り口にロープを張つて、正門を閉めます。すべてのお客様を笑顔でお見送りすることができ、みな一様にほっとした様子です。



4月5日の忘れ物。カメラ2、傘1本、帽子、マフラー、アクセサリーなど

なければいけません。こうした事務作業を終えれば、ようやく今日一日の業務は終了です。

なにはともあれ、お客様にも作品にも事故がなく閉館できたことは、お客様サービスセンターにとつて大きな喜びです。安全と安心を保障することが、サービスセンターの仕事。加えて、満足してお帰りになるお客様の笑顔を見ることができれば、それが何より。充実した一日だったということができるでしょう。

(構成 小林牧)

INFORMATION

コンサート開催のお知らせ

ローナン・マギル ピアノコンサート

＃ユリノキの緑薫る博物館で、英国の誇る俊英による
ピアノ名曲コンサートをお楽しみください＃

日時 6月23日(土)
開場 14:30 開演 15:00
場所 東京国立博物館 平成館ラウンジ
出演 ローナン・マギル(ピアノ)
主催 東京国立博物館 サロン・ド・ソネット
曲目 ソナタ14番「月光」(ベートーベン)、ノクターン(ショパン)ほか
料金 4,500円 全席自由
※友の会・キャンパスメンバーズ割引 3,000円
※コンサート料金で、当日の平常展をご観覧いただけます。

＜チケットのお求め方法＞

- 当館正門観覧券売場でのチケット販売
受付 開館日の9時30分～閉館30分前(月曜休館)
- 電話予約販売
申込先 東京国立博物館 イベント担当 TEL03-3821-9270
受付時間 月曜日～金曜日の9時30分～17時00分(祝日は除く)
引換方法 コンサート当日、当館正門観覧券売場にて現金引換にてお渡し
します。

バーンスタインが絶賛した奇跡のハーモニー！
ハーバード大学・クロコディロス 無料コンサート

＃ハーバード大学男声アカペラコーラスグループ「クロコディロス」。
本年も東京国立博物館への登場が決定！＃

日時 6月24日(日) ①11:00～ ②13:00～ (各回20分程度)
会場 東京国立博物館 本館エントランス
出演 クロコディロス
演奏曲目 未定
参加費 無料(ただし入館料は必要)、事前予約不要
※当日会場にお集まりください。

◆東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、
当館を幅広くご支援いただいております。賛助
会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修
理、調査研究・平常展・施設整備等の充実にあ
てております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご
賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申
し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)
有効。賛助会員には、特別会員と維持会員と
の2種類があります。

年会費

特別会員 100万円以上
維持会員 法人 20万円
個人 5万円

特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

*賛助会員のお申し込みは随時受け付けています。

*お問い合わせ

東京国立博物館営業開発部 賛助会担当
TEL 03-3822-1111(代)

問い合わせ 東京国立博物館 渉外課イベント担当 03-3821-9270
主催 東京国立博物館 財団法人東芝国際交流財団
※各イベント詳細は、当館ホームページでご確認ください。
※お車でのご来館はご遠慮ください。

臨時休館のお知らせ

6月26日(火)は設備保守点検のため臨時休館いたします。
本館1階18室～20室は、2007年6月22日(金)～29日(金)まで、展示準備のため閉室いたします。
東洋館(アジアギャラリー)は、2007年7月17日(火)～20日(金)まで、展示準備のため全室閉室いたします。

お盆期間中の開館のお知らせ

お盆期間中(8月13日(月)～15日(水))は開館いたします。

プレゼントのお知らせ

◆レオナルド・ダ・ヴィンチ 天才の実像
展覧会図録プレゼント

本誌5ページで紹介した「レオナルド・ダ・ヴィンチ 天才の実像」展の展覧会図録を抽選で5名様にプレゼントします。締め切りは6月11日(月)。

◆「京都五山 禅の文化」展
チケットプレゼント

本誌4・5ページで紹介した「京都五山 禅の文化」展の招待券を抽選で10組20名様にプレゼントします。締め切りは7月10日(火)。

※プレゼントの応募方法

はがきに、住所、氏名(ふりがな)、男女、年齢、職業、希望賞品(レオナルド展
展覧会図録か京都五山展招待券のいずれか一方)、ならびにこの号でいちばん面白かった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館
広報室「ニュース6・7月号」プレゼント係



東京国立博物館賛助会員 2007年5月1日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
東京電力株式会社 様
株式会社コア 様
株式会社 精養軒 様
毎日新聞社 様
大日本印刷株式会社 様
株式会社 大林組 東京本社 様
朝日新聞社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
TBS 様
株式会社 電通 様
読売新聞東京本社 様
三菱商事株式会社 様
トヨタ輸送株式会社 様

維持会員

三菱電機ビルテクノサービス株式会社 様
早乙女 節子 様
株式会社 三冷社 様
宇津野 和俊 様
伊藤 信彦 様
井上 萬里子 様
京菓匠 鶴屋吉信 様
株式会社 東京美術 様
服部 禮次郎 様
数内 匡人 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様
小田 昌夫 様
吉岡 昌子 様

松本建設株式会社 様
関谷 徳衛 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保のり子 様
櫛田 良豊 様
株式会社 スタイルカフェ・ドット・ネット 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様
観世 あすか 様
コクヨファニチャー株式会社 様
星埜 由尚 様
株式会社 鴻池組 東京本店 様
株式会社 アクタス 様
林 宗毅 様
安田 敬輔 様
久保 順子 様
渡辺 章 様
稲垣 哲行 様
堀江 磨紀子 様
帖佐 誠 様
株式会社 古美術藪本 様
飯岡 雄一 様
高瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
寺浦 信之 様
高木 美華子 様
晩飯島工業株式会社 様
山岡 コウ子 様
古屋 光夫 様
根田 穂美子 様
松本 澄子 様
鷲塚 泰光 様
是常 博 様
上野 孝一 様
北山 喜立 様
謙慎書道会 様

社団法人 全国学校栄養士協議会 様
山田 泰子 様
原 桃介 様
近代書道研究所 様
田村 久雄 様
日本畜産興業株式会社 様
株式会社秋華洞 様
高橋 徹 様
栄田 陸子 様
絹村 安代 様
高橋 良守 様
岡田 博子 様
臼井 生三 様
津久井 秀郎 様
藤倉 光夫 様
神通 豊 様
永久 幸範 様
五十嵐 良和 様
池田 慶子 様
株式会社 東京書芸館 様
青山 千代 様
藤崎 英喜 様
永田 実香 様
西岡 康宏 様
小川 徳男 様
東野 治之 様
辻 泰二 様
竹下 佳宏 様
松原 聡 様
町田 昇 様
シチズン時計株式会社
野澤 智子 様
有賀 浩治 様
野崎 弘 様
坂田 浩一 様
池谷 正夫 様
池谷 徳雄 様

(ほか40名3社、順不同)

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会 年会費 1万円 発行日から1年間有効

特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート 一般 4,000円 学生 2,500円

発行日から1年間有効

特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でも、好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

◆お申し込みは当館の窓口あるいは郵便振替で

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号 00160-6-406616
*振替用紙には職業・年齢・性別を楷書でご記入ください

パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート
口座番号00140-1-668060
*振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は学校名および学生証番号を楷書でご記入ください
*振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートチケットが届くまで保管しておいてください
*振替手数料はおお客様の負担となります
*郵便振替でのお申し込みには2週間かかります

◆問い合わせ

TEL 03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◆お申し込みは郵便振替で

加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース
口座番号00100-2-388101
*振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください
*振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください
*振替手数料はおお客様のご負担となります
*次号より送付ご希望の場合、締切は7月10日です

東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30~17:00、4月から12月の特別展開催期間中の金曜日は20:00まで、4月~9月の土・日・祝・休日は18:00まで(入館は閉館の30分前まで)

休館日 毎週月曜日(祝日、休日の場合は翌日)、年末年始(12月28日~1月1日)。2007年6月26日は臨時休館。ゴールデンウィークおよびお盆期間(8月13日~8月15日)は原則として無休

平常展観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

* ()内は20名以上の団体料金
* 障害者とその介護者1名は無料です。入館の際に障害者手帳などをご提示ください
* 満70歳以上、および高校生以下の方の平常展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

* 講演会、ワークショップ、友の会・パスポートおよび本誌定期郵送等のお申し込みの際にご提供いただいた個人情報に関しては、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館では個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします



風景(グレー) 黒田清輝筆 明治25年(1892)頃

興に役立つことを願って、昭和五十二年(一九七七)以降、毎年一回、美術館・博物館と共催して同展覧会を開催してまいりました。今年度もこの事業を継続し、神奈川県下では初めての開催となります。かつて黒田清輝は鎌倉に別荘をもち、たびたび滞在していたこともあり、同美術館のある湘南地方の風景と自然に親しんでいたことから、画家の創作にとつて縁の地でもありました。所蔵する作品のなかから油彩画、素描等の代表作約一六〇点を選んで展覧することになりますので、この機会に多くの方々にご覧いただければと願っています。

(東京文化財研究所 田中淳)
*黒田記念館は7月15日(日)から9月5日(水)まで夏季休館いたします。

展覧会データ

「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展」

平成19年7月21日(土)~9月2日(日)
平塚市美術館
神奈川県平塚市西八幡1-3-3
TEL: 0463-35-2111(代表)

主催:
東京国立博物館 東京文化財研究所
平塚市美術館



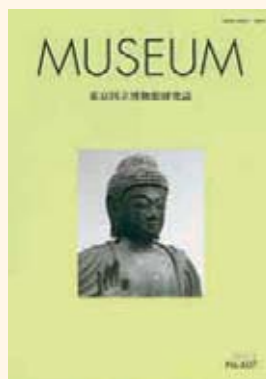
もる日影 黒田清輝筆 大正3年(1914)

◆MUSEUM 607号

(平成19年4月15日発行)の掲載論文

- ① 法隆寺献納宝物 皇太子御齋会奏文の基礎的考察「東野治之(奈良大学教授)」
- ② 「隠岐島・飯ノ山横穴墓の線刻壁画」東京国立博物館が所蔵する香取秀真「広瀬都巽らによる拓本をめぐって」渡辺貞行(島根大学教授)
- ③ 「新収品紹介」溝口禎次郎模 花下遊楽図屏風抜写「小野真由美(当館列品課研究員)」
- ④ 「資料紹介」東京国立博物館蔵 高野長英作「草木推葉」富坂賢(当館保存修復課主任研究員)

表紙解説「釈迦如来坐像」岩佐光晴(文化庁主任調査官)



◆国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉

特集陳列「新収品展」6月20日(水)~7月29日(日)

〈奈良国立博物館〉

特別陳列「古玩逍遙 一服部和彦氏寄贈仏教工芸展」6月9日(土)~7月8日(日)

親子のギャラリー「色と彩(仮称)」7月14日(土)~8月19日(日)

特別陳列「文化庁新収品展」7月14日(土)~8月19日(日)

〈九州国立博物館〉

文化庁海外展記念「日本のやきもの―選び抜かれた名宝120点―」7月7日(土)~8月26日(日)

2007年
6月

東京国立博物館 2007年6月・7月の展示・催し物

2007年
7月

1 FRI	時間延長(20:00まで) 15:00
2 SAT	月例講演会「拓本入門—中国碑帖の魅力—」13:30 平成館大講堂 13:30 14:00 15:00
3 SUN	屏風ってなに? 最終日 時間延長(18:00まで) 14:00 14:30
4 MON	休館日
5 TUE	列品解説「神護寺山水屏風」14:00 本館2室
6 WED	14:30
7 THU	14:00
8 FRI	夜間開館(20:00まで) 14:30
9 SAT	時間延長(18:00まで) テーマ講演会「京都五山の文化(1)五山派の彫刻」13:30 平成館大講堂*1 14:00 14:30
10 SUN	時間延長(18:00まで) 「親子で拓本に挑戦」13:00 表慶館創作の間*2
11 MON	休館日
12 TUE	列品解説「古写真—記録と記憶—」14:00 本館16室
13 WED	14:00 14:30 14:00
14 THU	14:00 14:00 14:30
15 FRI	夜間開館(20:00まで) 15:00
16 SAT	時間延長(18:00まで) 13:30 14:00
17 SUN	レオナルド・ダ・ヴィンチ—天才の実像— 最終日 時間延長(18:00まで) 12:30,14:00 14:00 14:30
18 MON	休館日
19 TUE	列品解説「豊臣秀吉の“唐御陣”—後陽成天皇宸翰女房奉書の分析から—」14:00 表慶館 対話の間
20 WED	14:00 14:30
21 THU	14:00
22 FRI	14:30 15:00
23 SAT	時間延長(18:00まで) ローナン・マギル ピアノコンサート 15:00 平成館ラウンジ*3 14:00 15:00
24 SUN	時間延長(18:00まで) 14:00 14:00 クロコディロス 無料コンサート ①11:00 ②13:00 本館エントランス*4
25 MON	休館日
26 TUE	臨時休館日
27 WED	列品解説「海外での展覧会協力—フィラデルフィア美術館主催「池大雅・徳山玉淵」展—」14:00 表慶館対話の間 14:00 14:30 14:00
28 THU	14:00 14:30
29 FRI	15:00
30 SAT	時間延長(18:00まで) テーマ講演会「京都五山の文化(2)京都五山の絵画」13:30 平成館大講堂*1 14:00

- = ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所: 本館1階エントランス
 = ボランティアによる浮世絵版画展示ガイド、集合場所: 本館1階エントランス
 = ボランティアによる陶磁エリアガイド、集合場所: 本館1階エントランス
 = ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所: 本館1階エントランス
 = ボランティアによる樹木ツアー、集合場所: 表慶館エントランスホール
 = ボランティアによる考古展示室ガイド、場所: 平成館考古展示室入口
 = ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、場所: 法隆寺宝物館1階エントランス
 = ボランティアによる応挙館茶会、集合場所: 表慶館エントランスホール
(参加費500円、先着30名、開始1時間前に表慶館エントランスホールで整理券配布)

1 SUN	コピーの元祖「拓本」体験 最終日 時間延長(18:00まで) 14:00 14:30
2 MON	休館日
3 TUE	昔のゲームを楽しもう 列品解説「中世仏画の制作工程」14:00 表慶館 対話の間
4 WED	14:30
5 THU	14:00
6 FRI	15:00
7 SAT	13:30 14:00 15:00
8 SUN	時間延長(18:00まで)
9 MON	休館日
10 TUE	列品解説「東京国立博物館所蔵の板碑」14:00 平成館企画展示室
11 WED	14:00 14:30 14:00
12 THU	14:00 14:00 14:30
13 FRI	14:30 15:00
14 SAT	時間延長(18:00まで) テーマ講演会「京都五山の文化(3)室町幕府外交と京都五山」13:30 平成館大講堂*1 14:00 14:30
15 SUN	時間延長(18:00まで) 12:30,14:00 14:00 14:30
16 MON	時間延長(18:00まで)
17 TUE	休館日
18 WED	14:00 14:30
19 THU	14:00
20 FRI	15:00
21 SAT	時間延長(18:00まで) 月例講演会「敦煌出土裂と日本の古代染織」13:30 平成館大講堂 13:30 14:00 15:00
22 SUN	時間延長(18:00まで) 14:00 14:00 13:30
23 MON	休館日
24 TUE	列品解説「彫刻の名品」14:00 本館11室
25 WED	14:00 14:30 14:00
26 THU	14:00 14:30
27 FRI	14:30
28 SAT	時間延長(18:00まで) テーマ講演会「京都五山の文化(4)五山僧と学芸」13:30 平成館大講堂*1 14:00
29 SUN	時間延長(18:00まで) 14:00 14:30
30 MON	休館日
31 TUE	京都五山 禅の文化 列品解説「銅鐸の響き」14:00 表慶館 対話の間

- 9/24まで 9/9まで
 = ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所: 表慶館エントランスホール
(先着20名、開始1時間前に表慶館エントランスホールで整理券配布)
 = ボランティアによる英語ガイド(本館ハイライト)、集合場所: 本館1階エントランス
 = ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ
(根付づくりコース、事前予約制(当館ホームページをご覧ください)、抽選で10名)
*1 詳細は本誌4-5ページをご覧ください
*2 事前申込制。詳細は前号6ページをご覧ください
*3 有料イベントです。本誌14ページをご覧ください
*4 本誌14ページをご覧ください
*上記の予定は予告なく変更になることがあります。当日の予定はインフォメーションカウンターでご確認ください。
*屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。